

# 被災者支援ニュースレター （第8号）

復興庁被災者支援班  
平成二十七年六月三十日

## 『復興・創生期間』（平成28～32年度） 被災者への支援を着実に推進

去る6月24日、復興推進会議が総理官邸にて開催されました。本会議は、総理を議長とし、全閣僚がメンバーとなり、復興に関する取組の方針について話し合う会議です。今回は、震災後6年目と



復興推進会議の様子

なる平成28年度以降の復興・復旧事業の方針について話し合われました。被災者への支援に関しては、引き続き、多様な課題にしっかりと対応していく必要があり、50の対策からなる被災者支援の総合対策を着実に推進するとされ、安倍総理も、席上、「避難生活が長引いている被災者の心のケアに万全を尽くし」、「関係自治体、住民、企業、NPOの皆さんと力を合わせていきたい」と改めて決意を述べました。引き続き、政府をあげて被災者への支援に取り組んでまいります。

## 「心の復興」事業 第二次採択事業が決定 ～仮設住宅居住者の方々約1万人の参加を目指す～

被災者の方々の人と人とのつながりを創り、生きがいを持つて前向きに暮らしていくための取組を支援するため、今年度から開始している「心の復興」事業について、第二次採択事業が決定しました。二次では68団体の応募から18団体の提案を採択し、約8100人（仮設住宅居住者約4500人）の方々に参加を予定しています。地元の祭りや手作りマルシェなどの新たな取組を行い、コミュニティ形成を図るものや、被災市街地の模型を活用したワークショップで街の記憶を取り戻し、心の復興を目指すものなどがあります。

一次を合わせると、合計で1200団体の応募から40団体の提案を採択し、参加者数は全体で約15600人、仮設住宅の居住者で約10000人に上るものとなっています。このような被災者の方々や参画する活動の支援は、非常に重要と考えており、今後とも、被災者健康・生活支援総合交付金を活用するなど、被災者の方々への「心の復興」に寄与するため、力強く施策を展開してまいります。

### 平成27年度復興庁「心の復興」事業二次採択事業一覧

| No. | 提案名                          | 取組内容   | 提案団体名              | 対象地域     |
|-----|------------------------------|--|--------------------|----------|
| 岩手県 |                              |  |                    |          |
| 1   | 「心のゆい」プロジェクト                 | 被災者が共同で「ものづくり」を行うことで仲間を作り、心の支えと生きがいづくりに繋げる。また、制作した作品を、イベントで紹介し、参加者に贈呈し、被災者と支援者の心の交流・繋がりを図る。  | ゆいとり工房             | 岩手県宮古市   |
| 2   | 大槌「心の復興」サポーター事業              | 仮設住宅や災害公営住宅の住民同士が支えあうための「元気サポーター」を住人の中から育成し、支援活動を行っている外部団体等とのネットワーク構築に取り組み、様々な活動につなげていくことで、包括的な心の復興推進の仕組みづくりを目指す。  | 大槌町                | 岩手県大槌町   |
| 3   | 地元はやっぱいいなあ～大作戦               | 被災した建物の一室を地域住民で修繕を行い集いの場をつくる。地域に歌い継がれている唄等を住民で歌いCD化する。地域の写真が展示できるよう作成する。元気で安心して暮らせる町づくりについて、勉強する会を開催する。地元の食を見直す機会や、交流する場として、食の文化祭を開催する。これらの取組により、住民が一体となった新たな役割の創出とコミュニティの再構築を目指す。 | 小本いきがいらぶ           | 岩手県岩泉町   |
| 4   | 若者による「ふるさとの記憶と再生」による心の復興交流事業 | 被災市街地の模型を活用した歴史・文化・産業のワークショップや被災者へのヒアリングを行う。仮設住宅で生活している小中学生を主な対象とし、大学生と一緒に家具づくり体験を通じた交流事業を行う。震災前の街の記憶を取り戻し、その街を誰もが忘れないことを、若者との交流を通して実感し、被災者の心の復興を目指す。                              | 一般社団法人SAVE TAKATA  | 岩手県陸前高田市 |
| 5   | 大船渡長洞仮設大同窓祭                  | 仮設住宅に住んでいる方、住んでいた方、地域の方、仮設住宅を訪問した方を一同に介し交流会（同窓祭）を行う。毎月集いを行い、楽しみながら学び、実践して五感に働きかけるプログラムで心に必要なビタミンの充足を計る。  | 長洞仮設大同窓祭実行委員会      | 岩手県大船渡市  |
| 宮城県 |                              |  |                    |          |
| 6   | 石巻雄勝の漁業で生きがいを創り、故郷と人の心の再生を図る | 漁業体験や伝統芸能、工芸の体験のツアーで大都市圏の人に被災地の状況を知ってもらうほか、地元特産品を大都市で加工・販売する仕事をしてもらうことで心の復興を図る。  | 一般社団法人復興支援土業ネットワーク | 宮城県石巻市   |

### 「心の復興」事業の実施について 平成27年6月22日

平成27年度から被災者の生きがいづくりに資する活動を支援する「心の復興」事業を新たに実施。二次では68団体の応募から18団体の採択を決定。約8100人（仮設住宅居住者約4500人）が参加。一次、二次合計では120団体の応募から40団体の採択を決定。全体で約15600人（仮設住宅居住者約10000人）が参加するプロジェクトを推進（平成27年度「心の復興」事業の予算額：1.1億円）

**【イベントに関するもの】** (3件 いずれも二次)

○町民が主役のまちづくり！ヒト・モノ・コト起こしプロジェクト  
【実施地域】宮城県南三陸町  
【実施主体】歌津復興夏まつり実行委員会  
【参加者数】680人  
うち仮設住宅居住者660人  
【実施内容】地元の夏まつりにおいて、新たに創作ミュージカルと手作りマルシェを行う。祭りの後もマルシェ活動を継続する。これらの取組により、賑わい創出、コミュニティ形成、世代間交流等を図る。

**【農業に関するもの】** (4件 いずれも一次)

主なプロジェクト  
●「心の農園」プロジェクト（一次）  
●心の復興を目指す「イシノマキファーム&イシノマキマルシェ（仮称）」プロジェクト（一次）  
●被災者と地域住民の交流充実に向けた地域協働型プロジェクト（一次）等

**【子ども・世代間交流に関するもの】** (5件 うち一次1件 二次4件)

○「福島こどもの映画祭、こども映画教室、移動映画館」  
【実施地域】福島県内  
【実施主体】福島こどものみらい映画祭実行委員会  
【参加者数】850人  
うち仮設住宅居住者250人  
【実施内容】映画祭、映画教室等の交流会をおとして、子供達の交流活動を促進させていくことで、コミュニティ再生に寄与する。仮設住宅等で移動映画館を開催し、閉じこもりがちな高齢者のコミュニケーションを図る。

**【ものづくりに関するもの】** (9件 うち一次6件 二次3件)

主なプロジェクト  
○福島心の復興 ランタン作りプロジェクト  
●「いま、ここで生きている」展 被災者の心をつなぐ作品展覧会開催計画（一次）等

**【まちづくり・世代間交流に関するもの】** (9件 うち一次5件 二次4件)

○故郷の記憶を記録し新たな町づくりの礎を作る事業  
【実施地域】宮城県南三陸町  
【実施主体】宮城県サポートセンター支援事務所  
【全体参加者】650人  
うち仮設住宅居住者400人  
【実施内容】住民と大学生が街歩きを行い、故郷の記憶を記録していく。結果について、住民報告会を開催するほか、冊子にまとめて住民に配布する。新たな生活における心の拠り所を手に入れ、心の復興を支える。

**【漁業に関するもの】** (1件 二次のみ)

○石巻雄勝の漁業で生きがいを創り、故郷と人の心の再生を図る  
【実施地域】宮城県石巻市  
【実施主体】一般社団法人復興支援土業ネットワーク  
【全体参加者】60人  
うち仮設住宅居住者60人  
【実施内容】漁業体験等のツアーで大都市圏の人に被災地の状況を知ってもらうほか、地元特産品を大都市で加工・販売する仕事をしてもらうことで心の復興を図る。

**心の復興  
40のプロジェクト**  
[採択額計10,500万円]

全体参加者 約15600人  
うち仮設住宅居住者約10000人

岩手

少子化対策・子育て支援を支える遠野市「わらすっこ基金」を活用した取組

〜元気わらすっこセンター（遠野市子育て総合支援センター）〜

遠野市では、人口減少に歯止めをかけ、子育て支援施策の強化を図るための重要施策をまとめた少子化対策・子育て支援総合計画「遠野わらすっこプラン」を策定しました。

当プランは、市民が安心して子どもを産み育て、子どもが健やかに育つ環境の充実を図ることを目的に策定され、さまざまな事業で構成されています。そのうち、先行事業として取り組んだ「遠野市助産院ねつと・ゆりかご」事業は、市内に出産を扱う医療機関が

無くなった背景から、平成19年12月に公設の助産院を開設したもので、県内産婦人科医師との連携のもと、遠距離通院されている妊婦さんとご家族の不安の解消・負担の軽減・産後のケアに至るまでのサポートを



わらすっこプラン

行っています。また、妊娠から出産まで14回の健診の一部を「ねつと・ゆりかご」で受診できるようにするなど、保護者の負担軽減を図っています。さらに、平成22年4月に市病児等保育施設「わらっぺホーム」を開設し、県立遠野病院の小児科医師の協力のもと、感染性の病気に罹患した場合の子どもなどを、保護者に代わって保育する事業を実施しています。そのほか、児童館施設を活用し



元気わらすっこセンター「おやこふれあいスペース」の様子

た「放課後児童クラブ」の設置及び学童保育料の無料化措置や、遠野市子育て総合支援センターが配置されている庁舎の一角に整備した「わらすっこルーム」等を開放し、親子同士の交流の場を提供しています。一方、遠野市には「わらすっこ基金」と呼ばれる一般寄附金と市の自主財源を合わせて積み立てた基金があり、これまでに102件3千万円を超える寄附金を積み立て、さまざまな事業の財源に充当されています。



元気わらすっこセンター「わらすっこルーム」の様子

中でも「わらすっこの誕生応援事業」では、インフルエンザ等のワクチン接種費用や一時保育等の利用料に充てることのできる1万円分の「わらすっこ応援券」を贈呈して保護者の経済的負担の軽減を図っています。今後の基金の活用は、人口減少対策への有効な活用を検討していくほか、就労と子育ての両立を図る保護者への支援、子育てサロン、子育て支援団体への更なる支援を検討していきたいとのこと。

【岩手復興局参事官補佐 筑後康男】

本件に関する問い合わせ先  
遠野市子ども子育て支援課  
(電話) 0198-621211

|       |  |   |                             |                          |
|-------|--|---|-----------------------------|--------------------------|
| 7     | 故郷の記憶を記録し新たな町づくりの礎(心の拠り所)を作る事業               | 住民と大学生が街歩きを行い、故郷の記憶を記録していく。また、結果について、住民報告会を開催するほか、冊子にまとめて住民に配布する。これらの取組により、新たな生活における心の拠り所を手に入れ、心の復興を支えることを目的とする。                            | 宮城県サポートセンター支援事務所            | 宮城県南三陸町                  |
| 8     | 町民が主役のまちづくり！ヒト・モノ・コト起こしプロジェクト                | 震災以前より地元町民に親しまれていた夏まつりにおいて、新たに創作ミュージカルと手づくりマルシェを行う。これらの取組により、賑わい創出、コミュニティ形成、世代間交流等を図る。  | 歌津復興夏まつり実行委員会               | 宮城県南三陸町                  |
| 9     | 達人リスト・達人レシピを活かしたまごころ食農連携事業                   | 協同農園にて農作物の生産活動を行う。収穫物はコミュニティレストランで買い取り、オリジナルの丼&惣菜のメニューとして利用する。隠れた人材や才能の発掘を推進し、「達人リスト・達人レシピ集」を作成する。これらの取組により、参加者のやる気・やりがいの醸成に結びつけ、自信・誇りを高める。 | わたり・まごころ食農ネットワーク            | 宮城県亶理町                   |
| 10    | 鎮魂と未来への祈り・石巻11アートイベント2015 “被災野に子ども達の大きな花アート” | 石巻市の子どもを参加者として、アートイベントを実施する。イベント後も勉強会を実施しながら、来年度のイベントの準備を進めていく。これらの取組により、被災の風化を防ぐとともに、地域住民のこころの復興と生きがいづくりに寄与する。                             | 花とアートで再生復興プロジェクト委員会         | 宮城県石巻市                   |
| 11    | 地域住民とつくる「TOHOKU おらほナビ ～ご自慢料理～」               | 仮設住宅や公営住宅などのチームでレシピを開発し、自慢の料理を披露してもらう「ご自慢料理大会」を実施する。住民が自ら自慢できるローカルコンテンツを作り出すことで生きがいを創出する。   | NPO ぐるぐる応援団                 | 宮城県石巻市、東松島市、塩釜市          |
| 12    | ロボット作り・パソコン教室による子供支援事業                       | 仮設住宅に住む小中学生を主対象に、ロボット作り・パソコン教室の講座を行う。講師たちとのふれあいと一緒に参加する仲間との交流を通して心のケアにつなげる。   | みやぎジョネット                    | 宮城県気仙沼市・登米市・南三陸町         |
| 13    | みんなの心の拠り所で横のつながりと元気をつくるプロジェクト                | ものづくり活動のサポートを通じ、震災により地域を離れざるを得なかった人々も気軽に地域に寄れる機会を提供し、住民や元住民同士での交流の場を創出する。孤立を防ぎ、外に出て交流をすることによる心身の健康増進を図り、一人ひとりの心の復興に寄与することを目的とする。            | 上釜を愛する会設立準備委員会              | 宮城県石巻市                   |
| 福島県   |  |   |                             |                          |
| 14    | 福島心の復興 ランタン作りプロジェクト                          | 手づくりのランタンを装飾制作を行い、販売する。またランタンの装飾デザインのコンペティションを行う。仮設住宅に住む方々と福島を応援する県外の方々と結び交流を図っていくことで心の復興を図る。   | 一般社団法人ビーオーリーグ               | 福島県飯館村、相馬市、南相馬市、伊達市、いわき市 |
| 15    | 伝統文化・人形浄瑠璃を通じた福島県への心の復興事業                    | 人形浄瑠璃を実際に体験する文化体験を通して、豊かな想像力や生きがいを育む文化的支援を行う。公演の中で地元の方たちによる発表を行い、子どもからお年寄りまでが楽しむことができる世代間交流事業を実施し、地域におけるコミュニティの強化を図る。                       | やまびこ座・こぐま座 東日本大震災復興支援プロジェクト | 福島県福島市、二本松市、郡山市、川俣町      |
| 16    | 福島こどものみらい映画祭、こども映画教室、移動映画館                   | こどもの未来映画祭、子供映画教室等の交流会をととして、子供達の交流活動を促進させていくことで、コミュニティ再生に寄与する。また、仮設住宅、災害住宅の方々と対象に移動映画館を開催し、日頃閉じこもりがちな高齢者のコミュニケーションを図る。                       | 福島こどものみらい映画祭実行委員会           | 福島県内                     |
| 3県・2県 |  |   |                             |                          |
| 17    | 震災復興支援 家族ロボット教室                              | 仮設住宅に住む子供たち等を対象に、家族が見守る中、ロボットを組み立て自在に動かすことに取り組むものづくり体験を行う。ボランティアスタッフなど世代を超えた多様な立場の人々と協力して、被災者の心身のケアに取り組む。                                   | 株式会社富士通コンピュータテクノロジーズ        | 岩手県、宮城県、福島県              |
| 18    | 日本を元気に！夢の課外授業 東北復興交流プロジェクト                   | 被災地の子どもを中心に、ダンス、スポーツ、自然体験教室の専門技術、知識を有した講師が特別授業を実施する。父兄や地域の方々も一緒に参加し、世代間の交流が出来るよう取り組む。   | 二十一世紀倶楽部                    | 岩手県、宮城県、福島県              |